オリンピックによせて(5)

市スポーツ振興審議会長　沢村武一

ベルリン大会の競技種目は陸上競技、レスリング、近代五種競技、フェンシング、ホッケー、重量挙持、フットボール、ポロ(水球)ヨット、射撃、ハンドボール、自転車競技、カヌー(皮舟)、スポート、水泳、競泳、飛込、バスケットボール、ボクシング、体操、漕艇の十九種目で、日本は五種競技フェンシング、重量、射撃、ハンドボール、自転車競技カヌーの七種目を除いた十二種目に参加した。元来オリンピック競技種目は、国際オリンピック委員の総会で決定するが、世界的に普及し、相当多くの参加が見込まれるものでなければ総会で採択されないため、種目のすべてが外国で創められ発達したものばかりである。しかし参加する以上はその種目の研究をなし、万国共通のルールに従って指導し、普及を図り、いわゆる日本化し長期の選手育成が必要である。

二年後の東京大会の種目は昭和三十六年六月アテネのオリンピック委員総会で、ベルリン大会の十九種目からハンドボールを除き、バレーボールと柔道を加えた新種目の柔道こそ日本固有のもので日本の誇りであり喜びに堪えない。これは各方面努力の結果だが、根本は講道館柔道の創始者嘉納治五郎先生の力だ。先生は東京高等師範学校長、講道館長とし、柔道の普及発達に尽力され、一方ではわが国初代の国際オリンピック委員として、また一九一一年大日本体育協会(現在の日本体育協会)を創立し第五回の選手派遣以来引続き、日本のオリンピック参加に努力された。また、柔道を世界に普及さすためには、オリンピック競技種目に加えることだと常に主張され世界柔道競技連盟の会長を勧めていた。ドイツへは柔道選手を引率して数回講習宣伝に出られていたので柔道が盛んに行なわれていた。今回東京大会に、正式競技種目として採択されたことは、先生も地下でさぞ御満足されていることと思う。さて、大会二日目に日本チームは陸上競技、レスリングに参加した。

陸上百米の第一予選では、吉岡隆徳、鈴木聞多、佐々木吉蔵の三人が揃って二着、第二予選で四着となり失格したが、一万米では村社(むらこそ)選手が決勝で第四位、走高跳では矢田喜美雄選手が一米九七を越えて第五位、女子槍投げ競技では、山本定子選手が四十一米四五を出し第五位の成績で陸上では得点七点を挙げフィンランド、ドイツ米国について第四位の好成績であった。

市民の声

締切　毎月二十日
宛先き　広報委員会

議員諸公に望む

南国市は昭和三十四年十月一日の発足であり、同年十一月の選挙で諸公は南国市初代の議員として当選、すでに三カ年の歳月を経たるその間、不幸にして市役所の汚職事件が勃発し、汚名を天下に流したとき、諸公は市長支持、反支持に別れて白だ、黒だ、いや白黒は別だ道義的責任だと二年近くも争ったのも事実市政はストップ、市民は永い間大きな迷惑を蒙った。その事件の結果は先般の公判で明白となった。汚職事件に加えて教育委員会の暴行沙汰では市長 教育委員長の市民への陳謝、教育長の責任辞職など、市発足当初の期待に反することばかり。

一方議会の方では議長のポストを得たくて実に醜い種々の疑惑が広く流布された議会を傍聴に行った皆が一番失望し、うんざりすることは議長が机にかじりついて、事務局長の作った原稿を棒読していることだ。これで議長が勤まっていると思うこと自体が問題外であるとともに議会の権威にかかわり、更に四万三千市民の恥である。議長は関係法規には、ある程度通じ諸規程は覚えていて、広い経験の上に見識を備へ、一つ一つ事務局の指摘によらずとも一人歩きのできる人物であって欲しい。今の議長のようなことでは事務局が議長であるといって過言でない。イギリスのグレシャムは「悪貨は良貨を駆逐するが、良貨は悪貨を駆逐し難い」といっているが、今まではこの感を強くする。しかしこれは絶対に許されないことである。

議員諸公よ、諸公の任期も余すところ一年だ、次期最後の議長改選には、過去の行き方は清算し、フレッシュな気持で、私情はこれを排除し、大所高所より自己の良識によって判断し、市民も納得のできる人を選ぶよう大きな期待をかけている。議員諸公の背後には四万三千の市民が見守っていることを忘れてはならない。自己の価値を知らない自選議員の如きは、完全にノックアウトして風土に捌へないことである。これが諸公の最後を飾る道である。諸公の猛省を促してやまない。(愛市生)

都市計画はまだか

市の中心地である後免週辺は、電電公社や、法務局後免出張所などの官公庁をはじめ、西には東工業高校の学園が建っている。

この建築ブームは民間にも波及し、住宅に、アパートと日毎に建ち増されている現状である。このような建築ブームは、市の発展のためには是非とも必要な要素ではあるが、ところかまわず林立することは、市の美観をそこねることはもちろん、交通に障害を来たすことは火を見るよりも明らかである。市の将来への発展をのぞむならば、まず後免を中心とした道路網を完成させ、それにともなう街区の設定が必要であろう。旧来以然たる曲りに曲った道でなく、見通しのよい道を作くれば交通事故も減少するであろうし、見た目も美しい。そのようなことはわかりきっているが金がないというかも知れないが、たとえ財政困難なときとはいえども百年の大計である都市計画の草案を起草し、一応のバロメーターをつくることにより、今後の建築については、野放しではなくその線にそった位置に建築させるよう、規制できるだけの草案はできないものだろうか。(若草)

座談会記事について

前号の広報は、われわれ市民が知りたくても知ることのできなかった、議会などの裏面を明らかにしてくれた。

掲載されたことは〃記者の目〃にとらえられたものだけに真実がある。関係者の中には「こんなことをのせては、こまる」というものがあるそうだが、それは記事の真実を裏書きするのと同じである。広報の企画は成功であり、記者たちも新聞に取り上げなかったこうした裏話を提供することに努めてもらいたい。君らの任務は、紙面の上だけでないと思う。(一商人)

不親切な水道

市の水道は故障の場合、利用者に予告せず、断水することがある。

これは断水の区域が広いと狭いとを問わず、まず予告すべきではないか。

さる四日と十一日にも急に断水して、多くの家庭があわてた。

このときの故障は、急に起こったものかも知れない。しかし放送網が充実しているときだから、「これこれの事情で修理にかかる。何時間後には通水の見込み」というような連絡がなぜできぬ。

連絡さえあれば対策が立てられ、被害を受けることが少ない。市当局は水のない生活があると思っているのか。

市政の愛情とはこんな場合に現われるものだ。

こうした不時の断水が、どんなに家庭をこまらすものか、市の責任者は、日直のものに聞いてみるとよい。ひどく電話などで追及されているはずだ。いますぐ水道の工事人と話し合いを持ち、このような場合は関係職員は緊急出動して、工事人まかせにせず、復旧を督励することにしなくてはなるまい。市当局の今後の対策を紙上で明かにされたい。(一市民)

市政の谷間

交通安全がさけばれる。これは車の運転や、通行のしかただけのように聞こえるが、道路や橋の補修など見のがしてよいはずはない。岡豊町の国分川にかかる小蓮橋は写真のように荒れ果てている。両岸数部落の連絡路であり、農産物などの輸送路である。ましてや児童生徒たちの通学路というのに、大穴があき、欄干さえもない。市はいま財政再建準団体として台所は火の車であるが、この橋についての対策は早急に考えるべきだ。

句集南国

北村涼々子選

採卵かご一杯コスモス白くゆれ　(金地)　池　きた
バスゆるく月の岬を曲りけり　(後免)　田淵　落水
朝日匂ふ豊年の田を一人行く　(大埇)　高橋　道夫
ぽっと立つ蕊を囲みて曼珠沙華　(稲生)　田内千代子
田園の学舎の窓の日光浴　(片山)　吉川　米育
干竿の日々やせてゆく竿菜かな　(後免)　磯崎　政子
むさし野のすゝき靡きて句碑立てる　(中町)　井上　友女
宵に来る稲田の畦の捨小犬　(東崎)　吉本　清月
鰯雲乳房吸ふ児の瞳に頬ゆる　(福船)　大居　新草
子の動作大人ぶる芥子色づきて　(福船)　和田ひろみ
愛を知る瞳を真向に秋の虹　(八木)　溝淵由紀明
気安くて町へ出る道栗青し　(金地)　西本かよ子
戻り花三人の生涯永かりし　(金地)　島崎　涛
秋深さくす師まかせの手術台　(福船)　甲藤　芸蘭
導塚の大夕焼を支へたる　(大埇)　山中　日峯

募集　投句数　当季雑詠三句、月末締切、投句方法ハガキに自筆で三句を記し、住所氏名(号)を記載の事、送先　南国市大埇　西内双島子
次回選者　池　菊章

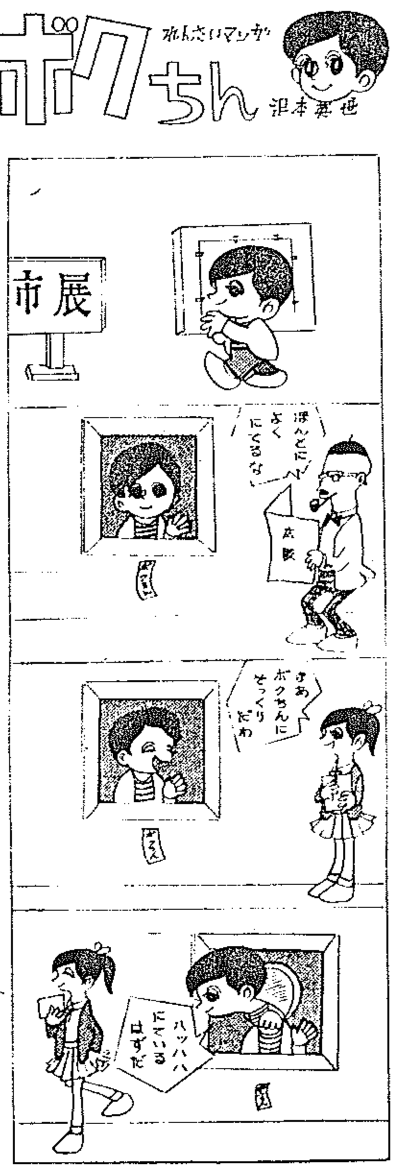
仲間の死

十市梨夫

仲間が不慮の死を遂げた。交通事故によってだが、それはしかし飲酒に禍いされたものであった。こうしたかれの不意の死は日頃酒を愛する周りの者達にかなりの衝撃を与えたようである。かれはその日K市の某青果市場で饗応をうけ相当な酒量を過ごしてスクーターでの帰途、トラックと接触したのである。倒れちがう時道路の側面に僅かな石垣の窪みがあり、それを事前に察知できなかったのは酔いのためであったろう。急停車した時そこにかれの運命の岐路があった。職場では屡々偶然によって生死の岐路を脱っしたものだがかれは不幸にも車輪の間へよろけこんだのである。とたんに重い車輪がかれの三十二才の肉体を無造作に噛み砕いていった。

事故の前夜ある会合があって私はかれと話をしたが、かれはひどく滅入っていて弱気なことを私しに云った。どうした元気がないぞ。どうもせんが妙にいかんとかれは云った。酒で躰を壊したのとちがうか。そんなでもないと微笑したが、その笑いはすぐに消えて記憶に残るほど力無い表情がそこにあった。

かれの葬儀は盛大なものであった。私しはかってこの様な葬儀をこの附近で見かけたことがない。将に名士並のそれであった。それは社会的なことには骨身を惜しまず働いた誠実なかれの人柄によるものであり、また何よりもその若さの魅力によるものであったであろう。とにかくかれは惜しまれてこの世を去った。だがたといどのように惜しまれ、盛大な葬儀をしてもらったところで、死の現実の前にはそんなことは無価値にひとしいのである。死はすべてに妥協をゆるさないものであるから。もっとも唯一の特権と云えば、かれは三十二才の若さの儘でかってかれと親しかった人々の記憶の底にいつまでも生きつづけるのである。しかしかれはすでに家庭の人であった。残された妻もあれば子供達もいる。一家の支柱を失ったために今後いかに多くの寂寥と困難とがそれらの者達の上に及んでくるであろうか。かれの家庭が物質的には些かの危惧不安もないとしても精神的な面の取返しはつかないのである。この頃交通事故があまりに頻発するので私達のそのことに対する考えも幾分マヒ状態にあるようだが、私しは側近に起こったことで事故の悲劇をいま痛切に感じている。家庭人ともなれば生命は自分だけのものではないから生きて甲斐ある間は、私達はもっともっと生命を大事にしなければならない。



高級御誂服とレデイメード替ズボン
西田洋服店
後免中町(相銀前)電話3063
有線 155—13

ブルトーザー施工
吉本鉄工所
南国市日章立田
ETL(日 章)26

毛糸
トーア、スキー
ローレス、カネボー
後免西町　富士屋百貨店
TEL248

お見合に
御婚礼に
山崎写真館
南国市後免中町
電話 南国354